コロナ封じ込め、新たな時代へ

－東京オリンピック・パラリンピックに期待－

サービス連合新聞

〒160-0002 東京都新宿区
四谷坂町9-6 坂町Mビル2階
サービス・ツーリズム産業
労働組合連合会
TEL 03-5919-3261
発行人　石川聡一郎



後藤会長

新年あけましておめでとうございます。

昨年は新型コロナウイルス感染症が流行し、日本のみならず世界各地で大きな影響が発生しました。私たちのサービス・ツーリズム産業も同様に様々な影響を受け、特に、観光関連産業においては、感染症拡大に伴い人の流れが止まり、甚大な被害を受けました。また、日常生活や働き方も変化を余儀なくされ、まさにこれまで経験したことのない年でした。

しかし、皆さんの多大なるご努力があり、新しい年を迎えることができています。

新型コロナウイルス感染症は、まだまだ終息が見えない中、日本のみならず世界の経済にも大きな打撃は避けられず、今後さらに私たちの産業に与える影響が懸念されます。

一方で、ワクチンの開発が進むなど、明るい兆しもあります。さらには、本年は東京オリンピック・パラリンピックの開催が控えています。日本が新型コロナウイルス感染症を封じ込め、人の流れを取り戻すことに成功した象徴となるよう力を合わせていきましょう。

昨年は、30年後の未来が一足飛びにやってきた年でした。変化、進化を遂げる間もなく、観光関連産業をコロナは飲み込んでいきました。私たちは、変化をおそれず産業の持続可能な発展とさらなる進化を目指す必要があります。

本年は、十干十二支で辛丑です。辛丑は変化が生まれる状態、新たな生命が萌し始める状態を指します。まさに、新しいことに果敢に挑むのに適した年と言えます。

本年7月にサービス連合もおかげさまで20周年を迎えます。この節目の年にあたり、この危機を乗り越えるために、将来を展望して新たな時代へ運動をみなさんとともに邁進してまいります。

そして、もう一つ忘れてならないことは、東日本大震災から10年目の年となることです。近年、自然災害の被害があとをたちません。私たち一人一人が復興にむけてできることを行うことはもちろん、あわせて産業として復興にむけて社会的役割を果たしていくことが重要です。

結びに、この新しい年が、より佳き年になるよう心より祈念申し上げ、私からの年頭のご挨拶とさせて頂きます。

皆さん、本年もよろしくお願い申し上げます。

２０２１年元日

サービス・ツーリズム産業労働組合連合会
会長　後藤　常康

2021年のおもな予定

	サービス連合の動き	社会の動き
1月	1/20 第20回中央委員会	1/18 通常国会召集(予定) 1/20 アメリカ大統領就任式
2月	2/5[連合]春季生活闘争・闘争開始宣言中央総決起集会	
3月	3/2 [連合]春季生活闘争・政策制度要求実現中央集会 3/15～19 春季生活闘争集中交渉期間	3/11 東日本大震災から10年
4月	4/29 [連合]第92回中央メーデー	
5月		
6月		
7月	7/16 第21回定期大会	7/23 東京オリンピック開幕
8月		8/24 東京パラリンピック開幕

こくみん共済
こどもの成長応援プロジェクト

こくみん共済
7才の交通安全プロジェクト

緊急要請第五弾
ＧｏＴｏ延長などを要請

新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない中、サービス連合では昨年10月27日、国などへの第五次緊急要請の実施を決定しました。内容は「ＧｏＴｏトラベル事業の延長」「雇用調整助成金の特例措置延長」「情報発信」「国際交流事業の再開にむけての準備」の４点です。

要請はまず、10月30日に立憲民主党に対して実施し、サービス連合からは後藤会長をはじめとする中央執行委員７名が訪問し、同党は近藤昭一企業・団体交流委員長（中央右）へ要請書を手渡す国会議員９名が応対しました。要請に対し、近藤委員長は「観光関連産業には大きな影響が出ている。要請はしっかり受け止めさせていただいた」と述べました。

その後、11月９日には国民民主党を訪問しました。同党は玉木雄一郎代表ら国会議員７名が応対し、玉木代表は「将来にむけての不安を払拭できるよう、影響を受けた産業を支えていく」と述べました。続いて財務省、厚生労働省、自由民主党と各省庁・政党へ立て続けに要請を行い、11月26日には観光庁へも訪問しました。対応した高橋一郎次長は「観光産業を維持していくために、全力で取り組みたい」と応じました。

なお、これらの要請の後、政府は「ＧｏＴｏトラベル」を今年６月まで延長する方針を表明しています。その一方で、感染拡大防止のため、12月28日から１月11日までの年末年始期間は、割引等の適用が全国一律で一時停止されることになりました。その後の対応は、感染拡大状況を見て判断するとされており、詳細は未定です。

雇用調整助成金については、いったん現制度を２月末まで延長し、その後は業種や特例内容を限定しての延長を検討するとされていますが、こちらも現時点で詳細は未定となっています。

サービス連合では、今般のＧｏＴｏトラベルの一時停止を受け、新たな緊急要請を予定しています。今後も情勢を見極めつつ、引き続き雇用の維持・確保、観光関連産業の維持にむけた要請を継続していく予定です。



［上］立憲民主党への要請。近藤昭一企業・団体交流委員長（中央右）へ要請書を手渡す
［中］国民民主党への要請。玉木雄一郎代表（中央右）へ要請書を手渡す
［下］観光庁への要請。髙橋一郎次長（左から２人目）へ要請書を手渡す



「書き損じハガキキャンペーン」
「連合・愛のカンパ」へのご協力を

サービス連合では、社会貢献活動としてユネスコの「書き損じハガキキャンペーン」に協力しています。住所の書き間違いなどで使わなくなったハガキを回収してユネスコへ届け、国内外での草の根活動を支援します。例えば、ハガキ11枚で、カンボジアでは１人が１カ月間学校に通えます。

来る１月20日の第20回中央委員会では、会場入口ブースでハガキを回収しますので、ご協力ください。当日来場できない組合は、サービス連合本部までお送りください。

また、連合が実施する「連合・愛のカンパ」への協力もお願いしています。これは人道主義の立場から「自由、平等、公正で平和な世界の実現」に向けた社会貢献活動として、ＮＧＯやＮＰＯ団体の事業・プログラムへの支援、および自然災害等の被災者救済を目的に行われているものです。今年６月まで、サービス連合本部および地連事務所で募金を受付けています。各加盟組合の温かいご協力をお願いします。

エコキャップの回収にご協力を

サービス連合では、エコライフ21活動として「エコキャップ」の回収に取り組んでいます。通常は可燃物として焼却されることの多いペットボトルのキャップですが、これを集めてリサイクル業者へ引き渡すことにより、ＣＯ２削減に寄与するとともに、世界の子どもたちへワクチンを届けることができます。

昨年度の回収個数は１万２，８００個（ワクチン８人分）でしたが、数を増やして一定数まで到達すると回収費用が無料となり、さらなる取り組み効果が期待できます。各加盟組合におかれましては、組織内で集めていただいたキャップを、会議の際に持参するなどの方法でサービス連合本部までお持ちください。皆さんのご協力をお願いします。

ご不明な点があれば、サービス連合本部までお問い合わせ願います。